

- 代表者名 代表取締役 渡辺 雅雄
- 設立年月日 1993年(平成5年) 3月31日
- 所在地 〒400-0857
山梨県甲府市幸町26-19
- TEL 055-232-7100
- FAX 055-232-7100
- E-Mail yoko.beterusekkei@gmail.com
- 業 種 総合工事業
[業務] 一級建築士事務所、一般建設業、宅地建物取引業
- 資本金額 1,000万円 ■ 従業員数 3人

インタビュー



代表取締役 渡辺 雅雄

テーマ

大型レーザー加工機の導入による高付加価値商品の生産計画

これまで手加工していたデザイン性の高い建具や造作の装飾や、外注していた大きな家具の複雑な形状の加工に対応するため、大型のレーザー加工機を導入した。精密性の高い装飾デザインの加工が可能になり、大型の精密加工の内製化も実現。レーザー加工技術と独自の木材加工技術を掛け合わせることで、独自性の高い提案も可能になった。



今回導入した大型レーザー加工機

渡辺工務店は創業から50年以上、在来工法による木造建築を中心とした事業を行ってきた。最近は住宅のリフォームや店舗、事務所の新築、改装、茅葺の東屋などの新築、また音響ベッドのケースなどデザイン性の高い装飾が事業の中心となっている。

同社が持つ木造建築の知識や技術は顧客から高い評価を受け、建築だけでなく、木材加工においても多くの依頼を受けている。店舗の建具や照明などのデザイン性の高い装飾や、健康器具を扱うメーカーが製造、販売している音響ベッドのケースの製造などを手掛けている。

店舗の建具などの装飾は、富士山の世界文化遺産登録による外国人観光客の増加の影響を受け、富士北麓地域のリゾート施設や宝飾関係の店舗での依頼が増えている。特に窓やドア、間仕切りの建具、照明、看板の装飾で独自性とデザイン性が求められている。

これまででは卓上糸のこ機の手作業により曲線を生かした天井照明や障子などを製作していたが、形状が複雑なものは製作するのが難しかった。

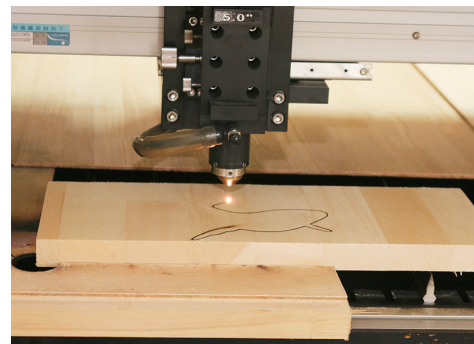
また音響ベッドのケースは、スピーカーが

内蔵される位置に指定した複雑な形状の穴を精密に加工することが求められている。当初は手作業による製作を検討したが精度が低く、顧客の要望を満たすものができないため、大型のレーザー加工機を持つ県外の業者に外注したが、小ロットでは加工の単価が高くなり、受注に対応しにくかった。

そこでより繊細で精密な加工にも対応できるように大型のレーザー加工機を導入。試作・検証に取り組んだ結果、精密性の目標±1mmに対し、0.85mm以内での加工が実現し、ミリ単位の装飾デザインの加工が可能となった。また音響ベッドのケースの精密加工の内製化もできるようになった。

これまで県内には大型のレーザー加工機を導入しているところがなく、導入、活用することで、家具や建具などの大型製品には難しかった精密な加工が可能となり、より顧客の要望に応える製品を提供することができる。

またレーザー加工機に係る作業は軽作業で、操作方法を取得すれば特殊な技術も不要であるため、これまで建築の現場での就労が難しかった女性に対して就労機会を提供することも可能になった。



複雑な形状も精密に加工できる

チャレンジしなくては新しいものは生まれない



さまざまな機械や道具がある作業場

甲府市の住宅街にある渡辺工務店の作業場には、さまざまな機械や機器、道具がところ狭しと並んでいる。天井を行き来する大型クレーンをはじめ、仕上げ加工に使う研磨機のベルトサンダーなど、一般的な工務店では見かけない珍しい機械もたくさんあり、敷地にはユンボも2台並んでいる。

「昔から道具道楽でね、ほしい道具があるとむずむずして買っちゃうんですよ。レーザー加工機もほしかったんです」と笑顔で話すのは渡辺工務店の渡辺雅雄社長。大工だった先代の跡を継ぎ、52年にわたり住宅や店舗などの新築、リフォーム、建具の製造などを手掛けてきている。

若い頃に建築大工の技能競技会で優勝の経験もある渡辺社長は、高い技術はもちろんのこと、一

級建築士の資格も持ち、設計も手掛ける。

「住まいの便利屋って名乗っています。小さい工務店ですが、住宅だけでなく、店舗の設計・施工やホテルや旅館のリフォームなど、さまざまな依頼をいただいています。頼まれたら断ることはまずないですね」と社長は笑顔で語る。

それだけ幅広い仕事ができるのは、設計から施工まで対応できるのに加え、持って生まれた器用さや長年培ってきた技と経験、そしてセンスがあるからこそ。さらにさまざまなことに挑戦していくバイタリティーにも富んでいる。

「伝統やセオリーは大事ですが、それにとらわれないで超えるものをやっていかないと、新しいものは生まれないですよ。いつも新しいことにチャレンジしていきたいって思っています」と楽しそうな笑顔を浮かべる。



デザイン装飾した照明

長年培ってきた技と新たな技術を組み合わせ、独自性高い提案へ



レーザー加工機での加工は羊子さんが担当

今回、大型レーザー加工機を新たに導入したのも、新たなものを生み出していきたいという気持ち、そしてお客様に喜んでもらいたいという想いがあったからこそだ。

「少し前に旅館やホテルなどの天井や格子でデザイン性の高いものをつくってほしいという依頼をいただいたんです。県内には大型のレーザー加工機のある会社がなく、その時は手加工で対応しましたが、とんでもなく時間がかかったんです。もっとお客様のニーズに迅速に的確に対応したいという想いがきっかけになりました」と社長は振り返る。

導入に際しては、渡辺家のお嫁さんである羊子さんが大活躍している。4年前から同社で働いている羊子さんは、入社後にCADやイラストレーターなどを勉強していて、今回導入したレーザー加工機での加工はすべて羊子さんが担当している。

「初めてのことばかりですべてが手探りでしたが、きれいなものができあがるとうれしかったです」とほほ笑む。今では大型機と同時に導入した小型レーザー加工機と使い分けながら、多様なスタイルの加工に対応している。

今後は耐震の壁を加工して圧迫感のないデザイン性の高いものにしたり、組子などのデザイン板をペアガラスの中に入れ込むなど、新しいリフォームのスタイルも提案していく計画。「父が長年蓄積してきた建築の技術や知識と組み合わせることで、さらに多彩な提案をしていけると思います」と羊子さんも新たな展開に向け動き出している。

「リフォーム工事をする中での付加価値としてレーザー加工を使ったさまざまな提案をし、お客様に喜んでいただきたいと思っています。もちろん、これからも新しいものにどんどんチャレンジしていきますよ」といたずらっぽく笑う渡辺社長。その抜群の行動力と柔軟な対応力こそ、渡辺工務店が支持され続ける理由だと実感した。



ザレイン遊びの障子



のれ窓にレーザー加工で渡辺工務店の装飾が施さ